

行政や社会と連携した選択肢提示に関する研究

研究分担者 名取 良弘 飯塚病院 副院長、脳神経外科部長

研究要旨：

前年度収集した行政作成のパンフレットを分析検討して、標準化したパンフレットを作成した。一方で、作成されているパンフレットの使用状況を調査したところ、標準的に使用している施設はほぼ皆無で、その問題点としては、十分な使用法の説明が不十分であることが明らかとなった。その対応法は、別研究で取り組みが開始されたソーシャルマーケティングの手法を用いた方法での確立が待望される。

A. 研究目的

前年度に引き続き、患者・家族の臓器提供の希望をくみ取るための行政や社会の活動を調査し、更なる円滑な運用のための改善策を見出し提案すること。

B. 研究方法

①地方自治体作成のパンフレットの標準化
昨年得られた地方自治体（都道府県レベル）で作成している、臓器提供の選択肢提示の際に用いる資料（「都道府県からのお知らせ」など）を分析検討し、その標準型を作成した。

②行政と急性期病院連携の問題点の明確化

既に作成されている地方自治体作成パンフレットの使用状況調査と、問題点の把握を、ヒアリング調査ならびにアンケート調査によって明らかにした。

（倫理面への配慮）いずれの調査も、個人情報を含まない調査で、対象からのアンケートなど侵襲を与える可能性のある調査を含んでいない。

C. 研究結果

①地方自治体作成のパンフレットの標準化
47都道府県のうち、都道府県単位での臓器提供の選択肢提示の際に医師が使用する目的でパンフレットなどの家族に配布する資料を作成している42道府県の資料から、以下のポイントで整理を行った。

1) パンフレット形状

二つ折りもしくは三つ折りのもので、開かなければ内部が分からない形状がすべてであった。

2) 表紙に記載の作成母体

地方自治体名のみ：32、地方自治体＋腎バンクなどの臓器移植を連想させる機関名：9、腎バンクのみ：1であった。

3) 表紙の文章

表紙に記載している文章に、移植医療を連想させる言葉・文章が含まれているものが16、含まれていないものが26であった。

4) 内部の説明文

全国様々な記載があるが、基本的には、『ご確認させていただきたいこと』というタイトル名、『臓器提供』の文言説明

と大きな差は認めなかった。

5) 返答用紙

最大以下の3問であった。

1. 患者本人の意思表示カードの所持の有無
2. 家族で臓器提供について相談したことの有無
3. 臓器提供に関する話をコーディネーターから聞いてもよいか？聞きたくないか？

最近作成されているものほど、質問項目が減り、3のみになっていた。

6) 裏表紙

地方自治体のマークのみが主体

②行政と急性期病院連携の問題点の明確化

行政作成のパンフレットの使用状況は、いずれの道府県でも、『作成はしたもの、実際の活用例は少ない(ほとんどない)。』というヒアリングならびにアンケート結果であった。

急性期病院の担当者を集めた講習会での説明でも、使用法が分からないという意見が多くでたという意見があった。また、すでに選択肢呈示を行ったことがある病院では、パンフレットを使用せずとも選択肢呈示は可能であるという意見も多く聞かれたとのことであった。

D. 考察

①地方自治体作成のパンフレットの標準化分析を踏まえ、それぞれの項目で標準化するポイントを定めた。

- 1) パンフレット形状
過半数である二つ折りを標準とした。
- 2) 表紙に記載の作成母体

厚生労働省の単名が望ましいとの意見が大多数であった。

基本的に、臓器移植・臓器提供を連想する機関名は表紙には記載することが望ましくないと考えられた。厚生労働省の記載許可が得られるまでは、地方自治体名のみ記載が望ましいと考えられた。

3) 表紙の文章

移植医療を連想させる文章は避け、『みなさまの意思を尊重するために、皆様のお考えをご確認させていただいております。』という最も多くの地方自治体で使用されていた文章のみを記載することとした。

4) 内部の説明文

「ご確認させていただきたいこと」というタイトル、ならびに内部の文章の記載は、趣旨に大きな差はなかったため、それぞれの作成者による少々の文言修正は可能と考えられた。ここでは、一例を示す。

5) 返答用紙

『臓器提供に関する話をコーディネーターから聞いてもよいか？聞きたくないか？』の1問のみ。

6) 裏表紙

厚生労働省や地方自治体などの表紙に記載した作成母体のシンボルマークを入れる。

以上、6項目の内容を満たした「臓器提供の選択肢呈示のためのツール」を作成した(図1)。

なお、本研究で提案する標準形のため、6項目の内容を作成基準とし、『厚生労働省科学研究費研究班の作成基準に準拠

して作成いたしました。』という文章を
図1には入れている。

②行政と急性期病院連携の問題点の明確化

行政作成のパンフレットの使用は、現時
点で極めて限定的であった。その理由は、
全国に先駆けて作成した福岡県で一定の成
果が上がったとの情報から、とりあえず作
成して配布したという感覚が拭えず、きち
んとした使用法の講習会を行った地方自治
体は数少なかった。

過去に選択肢呈示を行ったことがある病
院では、パンフレットを使用せずとも選択
肢呈示は可能であるという意見が聞かれた
ため、担当者がその他の病院への活用依頼
を躊躇したという経験談が聞かれた。実際、
このパンフレットは、臓器提供の選択肢呈
示を行いたい、実際の行い方が分からな
いという医師グループに適したもので、そ

の使用を積極的に考える可能性があるが、
既に行ったことがある医師グループには、
既になくても行っているため存在理由がな
く使用されない。また、臓器提供の選択肢
呈示を行うことを考えていない医師グルー
プには、意味がないことが容易に推察され
た。

急性期病院の医師の考え方は様々であり、
その考え方のグループ分けを行い、それぞ
れのグループに適切な資料を行政側から準
備する重要性が示唆された。

E. 結論

今研究で、行政作成のパンフレットの標
準化が行われた。

行政作成の本パンフレットは、臓器提供
の選択肢呈示を行いたいが、経験がない医
師グループに有用と考えられた。

図 1 : 臓器提供の選択肢呈示のためのツール

図 1 - 1 : 表紙 (1 ページ目)

The image shows a cover page template for organ donation consent forms. It features a large outer rectangle and a smaller inner rectangle. Inside the inner rectangle, the text is centered. At the top, there is a dashed box containing the text "行政名称" (Administrative Name), followed by the large title "からのお知らせ" (Notice from). Below this, there is a paragraph of text: "みなさまの意思を尊重するために、皆様のお考えをご確認させていただいております。" (In order to respect everyone's wishes, we are confirming your thoughts). At the bottom, there is another dashed box containing the text "行政名称" (Administrative Name).

図1-2 見開き左側（2ページ目）

ご確認させていただきたいこと

行政名称
↓

皆様には今、最も悲しい時と存じますが では、
患者様やご家族の権利を守る観点から、移植医療につ
いてのお考えを確認させて頂いております。

臓器提供についての話を、「聞いてみたい」あるいは
「聞きたくない」、どちらのお考えも尊重されます。

右頁に記入の上、医療スタッフにお渡してください。

内容は、趣旨が変わらなければ変更可能です。

※以前は、ご本人が臓器提供の意思表示カード等の文書に記載していなければ、臓器提供が出来ない場合がありましたが、現在では、ご本人が臓器提供を拒否していなければ、ご家族の希望により、臓器提供は可能です。

※主治医や治療スタッフは、移植医療に関与しない立場で、患者様・ご家族の意思を尊重します。
提供する、しないによって、不利益になることはありません。

図1-3 見開き右側（3ページ目）

コーディネーターから臓器提供に関するお話をお聞きになりますか？

※次の項目に○を付けて頂き、スタッフへお渡しください。

聞いてみても良い **聞きたくない**

記入した方のお名前 続柄（ ）

お問い合わせ先

（社）日本臓器移植ネットワーク

行政のコーディネーター連絡先

行政官庁の担当課連絡先

医療スタッフの皆様へ

こちらの用紙を受け取られましたら、上記のコーディネーター連絡先にご連絡ください

図1-4 裏表紙（4ページ目）

